

会 長 方 針

2024～2025年度

会長 後藤 薫



今年度は、大曲・仙北地区からガバナーを排出している事から、実働できる人材が地区の役員や委員として活動しており、残っている私が3回目の会長をお引き受けすることになりました。第2540地区の仕事に積極的に協力していくとともに、佐藤ガバナーが一大イベントとしているポリオデーの開催にも協力して参ります。ただし、ポリオの根絶が近づいている現状で、ポリオをテーマにすることには疑問を持っています。

さて、国際ロータリーのアーチック会長は、今年度のテーマを「ロータリーのマジック」とし、プロジェクトを終えるたび、寄附するたび、新会員を迎えるたびにマジックを生み出すとしています。このことは、佐藤ガバナーの地区スローガン「小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう」にもつながると思います。さらに、平和を優先し、継続と変化のバランスをとることを求めています。

近年強調されているのは、中核的価値観の一つ「多様性」と地域社会に受け入れられるようなクラブへの変革です。しかし、ロータリーは集まりたがる集団であり、懇親会以外はWEBで済むような地区事業への出席を求め、会員の負担が大きくなっています。社会の変化に合わせたICTの活用が不可欠です。また、多様性を叫びながら、当地区では6クラブ合同の～が増えていきます。どうしても必要な集まりならやむを得ませんが、各クラブの事情、会員数、会員構成違いがあり、それぞれが特徴有る活動をすればよいと思っています。

当クラブの運営に関しては、昨今の急激な円安と物価の上昇により、財務状況が厳しくなっており、会費の1万円値上げに同意していただきました。ありがとうございます。また、課題は、奉仕活動のための人材確保、特に実働できる会員の増強であり、その方策としては、会員一人一人が積極的に勧誘すること、例会内容を改革し、楽しいのはもちろん、何かプラスになるものが得られるように、例えば卓話の充実、各委員会の積極的な提案の場を設けることなどを考えています。さらに、実質的には活動休止状態の角館高校インターアクト部の立て直しも急務です。

どこまでできるか分かりませんが、会員の皆様のご協力を得て、一歩でも前に進めるよう努力したいと思います。

よろしくお願い申し上げます。

